

事務事業名	農家レストラン運営支援事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
政策名	総合計画体系 (I) 市民と行政の協働によるまちづくり《住民自治》	所属G	地域振興グループ	課長名	小川 忍
施策名	(02) 定住・交流の推進	担当者名	鳥谷健二	電話番号 (内線)	0854-40-1013 3518
基本事業名	(006) 交流の促進	予算科目	会計 款 項 目 中事業	農家レストラン運営支援事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (21年度 ~ 23年度)	雲南市ならではの「食の幸」構想を実現するため、地域資源を活用した農家レストランの立ち上げから、地域の食材を活かしたメニューの開発、事業展開に至るまでを委託事業として支援する。これにより、雲南ブランド化の推進を図り、交流人口の拡大と定住促進を図る。	雲南ブランド「食の幸」構想を実現するため、県ふるさと雇用再生特別基金事業を活用し、平成21年度より3年間の事業として取り組んでいる。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	③ 総計	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
コーディネーター1名、農家レストラン支援員2名の人件費及び活動に要する経費(雲南市ふるさと定住推進協議会へ事業委託)	委託先の選定、委託契約の締結、委託料の支払い、事業支援、完了検査等	事業費	10,376	12,155	11,297	0	0	33,828
		人件費	233	778	1,096	0	0	
		トータルコスト(A)+(B)	10,609	12,933	12,393	0	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)	湯村地区及び尾原地区農家レストランの運営支援。また、市内の食や農の体験交流活動を情報発信するサイトを構築した。	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	事業終了			
	⑤ 活動指標	農家レストラン支援員等の雇用者数	3	3	3		

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	農家レストラン 地域の食材、料理・加工グループ等 食に関心の高い都市生活者	⑥ 対象指標	農家レストランの数	6	7	7		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	地域資源を活用した農家レストランを立ち上げ、安心安全な「雲南市ならではの食の幸」を提供することにより、交流人口の拡大を図る。	⑦ 成果指標	農家レストランの数	6	7	7	
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	・雲南市へ移住してもらう ・雲南市を好きになってもらい、まちづくりを応援してもらう	⑧ 上位成果指標	転入者人口	1036	951	796		
			市外から移住された人数(定住推進員が相談を受けたもの)	32	24	55		

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
スローフード、スローライフが見直されている中で、安心安全な地方の食や農に関心の高い都市生活者が増えている。	雇用者3名の連携強化に努めている。	雲南ブランド化プロジェクトの取り組みについて市議会からも積極的に取り組むよう意見を頂いている。

事務事業名	農家レストラン運営支援事業	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 優先プロジェクトである雲南ブランド化プロジェクトに基づく事業である。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 優先プロジェクトである雲南ブランド化プロジェクトに基づく事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 市内で食やツーリズムに関わる活動を行っている団体に働きかけ、コミュニティビジネスへの発展など新たな事業展開に結びつける取り組みを行っている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 市内にはたくさんの潜在的な活動があり、掘り起こしや新たな事業展開への支援を行っていく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 地域資源を活用した交流活動が停滞する。雲南の食を後世に伝えていくためにも、交流活動として発展していくよう支援が必要。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 専門の支援員を配置し人的支援を行う事業は他にない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 県補助金を活用し行っている。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業実施は雲南市ふるさと定住推進協議会へ委託しており、必要最小限の業務で行っている。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市内の食に関わる団体等に周知している。今後も団体の掘り起こしに努めたい。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	雲南ブランド食の幸の発信拠点となるオーベルジュ雲南や尾原道の駅レストランがオープンし、運営安定化に必要な初期支援を果たした。本事業は平成23年度で終了するため、今後は運営主体であるそれぞれの組織・団体等において経営安定化の取り組みが必要と考える。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>●</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下	●	×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下	●	×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
経営安定化に向けた取り組みに対し、情報共有を行う。																							